

オンラインにより映像をライブ配信いたします。 会場 島根県民会館

| 次第  | 時間                                 | 出席者  |
|---|------------------------------------|--|
| <b>アトラクションⅠ</b><br><b>開会式</b><br>・開式の辞 島根大会実行委員会副会長<br>・国歌演奏<br>・大会会長式辞 全国高P連会長<br>・来賓祝辞 文部科学省、島根県知事等<br>・来賓紹介<br>・表彰式 全国高P連会長、文部科学省<br>・閉式の辞 島根大会実行委員会副会長  | 9:00～<br>9:20<br>9:20～<br>10:20    | 文部科学省、島根県関係者、開催地自治体関係者<br>全国高P連関係者：大会会長、副会長、大会運営委員(全国高P連理事)、大会顧問(全国高P連顧問)、受賞者、島根大会実行委員会関係者 |
| <b>記念講演・公演</b><br>①講師紹介<br>②講演・公演<br>講師 小泉八雲記念館館長 小泉 凡氏<br>俳優 佐野 史郎氏<br>ミュージシャン 山本恭司氏<br>③お礼 島根大会実行委員会  | 10:25～<br>11:50                    | 記念講演講師<br>島根大会実行委員会関係者   |
| <b>アトラクションⅡ</b><br><b>閉会式</b><br>・開式の辞 島根大会実行委員会副会長<br>・閉会の挨拶 全国高P連会長<br>・全国高P連旗返還 島根大会実行委員会会長<br>・全国高P連旗授与 石川県高等学校PTA連合会長<br>・次期開催地挨拶 石川県高等学校PTA連合会長<br>・閉会の挨拶 島根大会実行委員会会長<br>・閉式の辞 島根大会実行委員会副会長 | 11:50～<br>12:10<br>12:15～<br>12:50 | 全国高P連会長<br>石川県高P連会長<br>島根大会実行委員会会長・副会長   |

全体会アトラクション

|    | 内容  | 出演                |
|----|---|-------------------|
| I  | 吹奏楽(立奏)の演奏。ステップ等のパフォーマンスを取り入れた演奏・演技を行う。                     | 島根県立松江商業高等学校吹奏楽部  |
| II | 日本遺産となった石見神楽を上演する。演目は古事記、日本書紀にも登場する「大蛇」。迫力ある須佐之男命の大蛇退治を演じる。 | 島根県立浜田商業高等学校郷土芸能部 |



講演「小泉八雲がみた日本の魅力～五感でとらえた明治日本のすがた」小泉 凡氏  
 公演 小泉八雲朗読のしらべ  
 「八雲彷徨～神々の国の首都 松江から」  
 佐野 史郎氏 山本 恭司氏

日本を代表する俳優の佐野史郎と世界的なギタリスト山本恭司は、ともに小泉八雲が「神々の国の首都」と畏敬し、親しんだ町、島根県松江市の出身です。その2人のライブワークとして、小泉八雲の作品を素材とした朗読パフォーマンスを、2007年より継続的に行っています。2014年には八雲の母の故郷ギリシャ、2015年には父の故郷アイルランド、2019年には作家としてのキャリアを築いたアメリカ、そして国内で多くの公演を果たし、人々を感動の渦に巻き込んできました。2人が紡ぐ言葉と音楽は、松江で生まれた新しい総合芸術といってもよいかもしれません。近年、「八雲のオープン・マインドなまなざし」が現代社会の文脈で再評価され、新しい文化資源として文化創造に活かされています。この朗読パフォーマンスもその大きな潮流の中に位置づけることができるでしょう。生涯、語り部と深く交わり作品を紡いだ八雲。その深遠なイマジネーションの世界を体感してください。

小泉 凡



**小泉 凡氏「講演」** 小泉八雲記念館館長。東京都出身。成城大学・同大学院で民俗学を専攻後、1987年に松江へ赴任。妖怪、怪談を切り口に、文化資源を発掘し観光・文化創造に生かす実践研究や、小泉八雲の「オープン・マインド」を社会に活かすプロジェクトを世界の八雲ゆかりの地で展開する。2017年7月、日本・アイルランドの文化交流貢献で外務大臣表彰。主著に『民俗学者・小泉八雲』(恒文社、1995年)、『怪談四代記—八雲のいたずら』(講談社、2014年)ほか。日本ペンクラブ会員。焼津小泉八雲記念館名誉館長・島根県立大学短期大学部名誉教授。



**佐野 史郎氏「朗読」** 俳優。松江市出身。1975年、劇団シェイクスピア・シアターの創立に参加。1980年、劇団状況劇場(唐十郎主宰)に移籍。退団後、1986年林海象監督「夢みるように眠りたい」で映画主演デビュー。1992年テレビドラマ「ずっとあなたが好きだった」(TBS)のマザコン男「冬彦」役が社会現象となる。1999年、映画「カラオケ」で初監督。アレクサンドル・ソクーロフ監督「太陽」、カン・ジュギョ監督「マイウェイ」など海外作品にも出演。チェコのイジ・バルタ監督によるラフカディオ・ハーン原作「雪女」ではプロデューサーとして名を連ねる。



**山本 恭司氏「演奏」** ミュージシャン。松江市出身。18歳でヤマハ・ネム音楽院に入学。在学中にBOWWOWのリード・ギタリスト、リード・ボーカリストに抜擢される。デビュー当時は、キッスやエアロスミスとのツアーが大きな話題を呼び、常に日本のロック・シーンをリードしてきた。その後、VOW WOWを結成しロンドンをベースにヨーロッパ、アメリカで約4年間活動。海外での評価も高く、海外有名アーティストへの影響力も大きい。バンド活動以外にも、ギター・インストゥルメンタル・アルバムのリリースやジャズ・フュージョン系ミュージシャンとのセッションなど、その幅広い音楽性を武器に世界の音楽シーンで活躍している。